

北電興業株式会社の開発供給実施計画の概要

搾乳作業の最適化に向けた指示・提案を行う多言語対応システム

2025年7月認定

<取組概要>

搾乳作業において、デジタルツイン技術を活用して非熟練作業者の搾乳作業をウェアラブル端末等からの情報に基づき解析し、その結果を踏まえ、熟練作業者の動作との比較によりリアルタイムに作業を最適に指示・提案する多言語対応のシステムの開発及び供給

<申請者名（代表者）>

北電興業株式会社

<計画の実施期間>

5年間

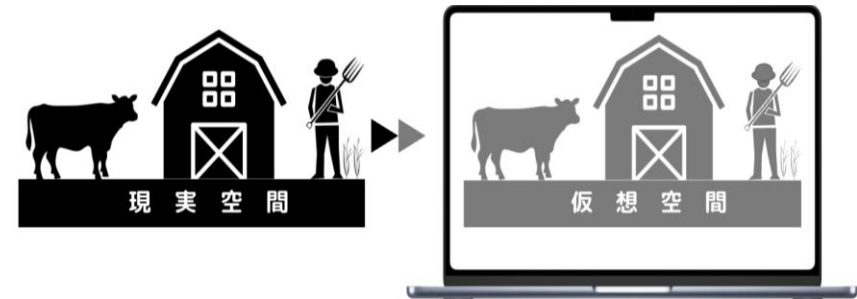
<本技術による生産性向上の効果>

- ・「農作業共通」のうち「スマートグラス等の熟練を要する作業の補助に係る技術」により労働時間20%削減に資する技術

搾乳作業の最適化に向け指示・提案を行う
多言語対応システムによる労働時間の削減

<開発技術のイメージ>

現実空間の情報を仮想空間でリアルタイムに再現



デジタルツイン

ウェアラブル・マニュアルによる作業最適化の指示・提案



特定の作業者の行動を記録し、次の動作を「ウェアラブル・マニュアル」に反映することで、“人”の認知能力を拡張し、作業効率を向上させる。